

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算      支出科目 款：商工費    項：観光費    目：観光開発費

### 事業名    関ヶ原古戦場イベント・PR等推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 関ヶ原古戦場整備推進課 企画推進係・環境整備係

電話番号：058-272-1111 (内 3074)

E-mail：[c11337@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11337@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費                    303,761千円 (前年度予算額：471,605千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	471,605	227,505	0	0	0	0	0	0	244,100
要求額	303,761	74,750	0	0	0	0	0	0	229,011
決定額	303,761	78,500	0	0	0	0	0	0	225,261

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜関ヶ原古戦場記念館がオープンし、今後、同館を拠点とした関ヶ原古戦場のブランド力を高め、戦国武将観光の中核としていくため、イベントの実施やプロモーションの展開などの取組みを進め、関ヶ原古戦場を観光地として磨き上げていく。

### (2) 事業内容

- ・戦国武将・城をテーマとしたプロモーション
- ・武将イベント
- ・関ヶ原ナイト2021
- ・年間イベント
- ・観光案内
- ・記念館オリジナルグッズ開発・別館フェア開催
- ・海外古戦場との連携
- ・関ヶ原写真コンテスト

### (3) 県負担・補助率の考え方

2015年3月に策定した「関ヶ原古戦場グランドデザイン」に基づき、県が実施する事業であるため、県負担が妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	2,231	プロポーザル審査会等
旅費	5,606	業務旅費、費用弁償
需用費	5,431	
委託料	289,188	イベント・プロモーション、グッズ開発等
役務費	915	
使用料	240	
備品購入費	150	
合計	303,761	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

岐阜県観光振興プラン

### (2) 事業主体及びその妥当性

当事業については、関ヶ原町にとどまらず、「関ヶ原の戦い」に係り性を有する近隣市町や他県との連携を図りながら実施する必要がある、広域性や高度な交渉力が求められることから、県が事業主体として実施することが妥当。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・古戦場の整備を通じ、関ヶ原古戦場の更なる魅力を創出し、観光客数の増加を図るとともに、関ヶ原古戦場を核とした周辺地域の周遊観光を振興する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
		(H29)	(H30)	(前々年度末時点)		
観光消費額	億円 (H -)	2,819億円 (H29)	2,822億円 (H30)	2,933億円 (R1) ※	3,300億円 (R7)	88.9 %
観光入込客数（実数）	万人 (H -)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,800万人 (R1) ※	4,900万人 (R7)	98.0 %
外国人延べ宿泊者数	万人 (H -)	98万人 (H29)	148万人 (H30)	166万人 (R1)	180万人 (R7)	92.2 %

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
2020年10月に岐阜関ヶ原古戦場記念館オープン記念式典、オープンイベントを開催。  
「私の関ヶ原」写真コンテスト2020を開催。 など

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
コロナ禍の中、感染症対策を徹底した上で、参加者制限、オンライン配信を用いた式典、イベントを開催した。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	東海環状自動車道の全線開通など交通インフラの充実が進む中、これを観光誘客の拡大に最大限活かしていくため、県と関ヶ原町が連携の上、古戦場の再整備等を進めていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	今年度開催したオープン記念式典、オープンイベントでは、コロナ禍の中、期待した規模のPR効果が得られた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	「関ヶ原古戦場グランドデザイン」策定時に、観光資源としての関ヶ原古戦場の現状を調査したうえで、課題解決に向けた具体的方針を示しており、当該方針に的を絞った事業を行うことで効率化を図っている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>事業の推進に当たっては、有識者や地元町民、観光事業者、交通事業者など幅広い分野からの参画や助言を得て、古戦場振興の取組みを実行に移していく必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>関ヶ原古戦場を周遊観光の核としていくため、「関ヶ原古戦場グランドデザイン」に基づくハード及びソフト両面の事業を、段階的かつ多面的に推進していく。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------

